

わたしはどこへ
ゆくのだらう

大津別院
親鸞講座

2022

「大津別院」親鸞講座 2022

わたしはどこへ

ゆくのだらう

令和三年一月 こよなき仲間の一人が 先立つて往きました

ともに学んでいた仏法は 印度から中国まで五百年

中国から日本へ また五百年

数えきれない先人の 筆舌に尽くし難い御苦労の中

法顕という先達は 中国から印度への歩みの途上

天に飛ぶ鳥無く 地に走る獣無く 唯 白骨を以て道標と為す

と記されました

今 改めて 法顕三蔵の跡を 親鸞聖人の跡を

先立つて往った仲間の跡を 共にたずねたいと思います

どうぞ お越しください



サカド ヒロム
沙加戸 弘 師

滋賀大学教育学部、大谷大学大学院卒業。1976年大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士後期課程単位取得退学。大谷大学文学部教授退職(名誉教授)。博士(文学)。著書『真宗関係浄瑠璃展開史序説—素材の時代』『親鸞聖人四幅御絵伝 絵解』ほか

当講座は、親鸞聖人の教えを通して、仏の教えをともに聞く聞法会です。全3回の開催となります。どなたでも、可能な日程だけでも、ご参加いただけます。ぜひ、お問い合わせの上、ご参加ください。

真宗大谷派 (東本願寺) 大津別院

■書院(本堂後方) 徳川家三代(家康・秀忠・家光)が上洛する際、当時の東本願寺門首(教如上人・宣如上人)とこの地で会見されました。寛文10年(1670)に再建されたものです。重要文化財。

■本堂 慶安2年(1649)に再建されたもので、江戸時代初期の真宗寺院建築の特徴を伝える貴重なものとして、書院と同じく重要文化財に指定されています。

■親鸞聖人等身御影(本堂内陣)

■教如上人御影、観如上人御影(本堂北余間)

※講座終了後に重要文化財・書院の一般公開があります。大津別院は慶長5年(1600)に、後に東本願寺を建立する教如上人が創建されました。



書院



教如上人御影



観如上人御影

第1回

9月15日(木)

第2回

10月25日(火)

第3回

12月7日(水)

[プログラム]

1:30 受付開始

2:00 開講、勤行

主催者挨拶

2:15 講話 ※間に約10分の休憩

3:45 閉会、恩徳讃

引き続き 書院公開(希望者)

※内容は若干変更する場合がございます。

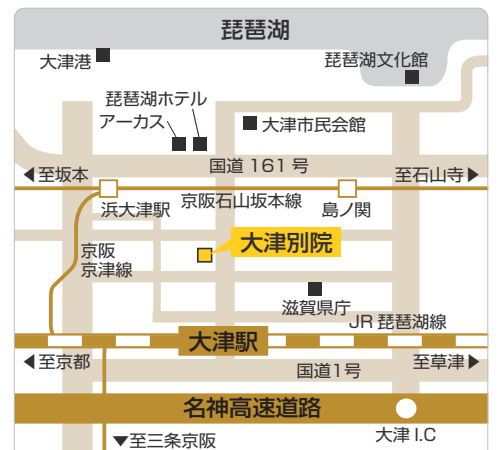
場所 真宗大谷派 大津別院 (東本願寺)

時間 午後2時から

会費 各500円

【お問合わせ】真宗大谷派大津別院 滋賀県大津市中央2丁目5-25
電話・077-522-6960(ファックス兼用) E-mail. otsubetsuin@gmail.com
http://www.k-kyoku.net/cat/betsuin/otsu-betsuin http://www.facebook.com/otsubetsuin

大津別院のYOUTUBEで過去の講話をご覧いただけます。



※境内にコインパーキングがございます(有料)